

各位

上場会社名	ヨシコン株式会社
代表者	代表取締役社長 吉田 立志
(コード番号	5280)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 吉田 尚洋
(TEL	054-205-6363)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,100	540	540	320	41.94
今回発表予想(B)	12,166	380	331	245	32.14
増減額(B-A)	△933	△159	△208	△74	
増減率(%)	△7.1	△29.6	△38.7	△23.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	12,916	781	781	216	28.10

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	500	500	300	39.32
今回発表予想(B)	12,005	313	263	203	26.64
増減額(B-A)	△994	△186	△236	△96	
増減率(%)	△7.6	△37.2	△47.3	△32.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	12,763	730	727	255	33.19

修正の理由

(1) 連結業績

不動産事業においては、「販売在庫の圧縮」を目標としつつ、「収益力」の源泉となる販売力強化およびコスト低減を意識した活動を行ってまいりました。結果として、長期に滞留する販売在庫に関しては、ほぼ一巡したものの、景気の先行き不透明感を反映したエンドユーザーの買い控えや、金融機関の慎重な融資姿勢により、分譲マンションの一部および静岡市内の投資用賃貸マンションなど一部物件が引渡しに至りませんでした。

環境事業においては、将来にわたる公共事業の漸減を見据え、民間向けの商材である、建築製品の製造販売に取り組んでまいりました。当期より本格稼働した建築製品である住宅用PC部材や建築用カーテンウォール部材の出荷は堅調に推移し、売上においては公共事業向け出荷の減少を補うことができたものの、建築製品の事業における初年度費用を大幅に計上することとなりました。

こうした結果、売上高については、121億円66百万円と、前回予想比9億33百万円の減少(増減率7.1%減)となる見込みであります。

営業利益は、3億80百万円と、予想比1億59百万円の減少(増減率29.6%減)となる見込みであります。

経常利益は、3億31百万円と、予想比2億08百万円の減少(増減率38.7%減)となる見込みであります。

当期純利益は、評価性引当額としていた役員退職慰労金の一部の損金算入が認められたものの、2億45百万円と、予想比74百万円の減少(増減率23.4%減)となる見込みであります。

(2) 個別業績

連結業績予想と同様の修正理由であります。

(注)上記の予想は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

以上